



▶ 外務省「高校講座」(オンライン)

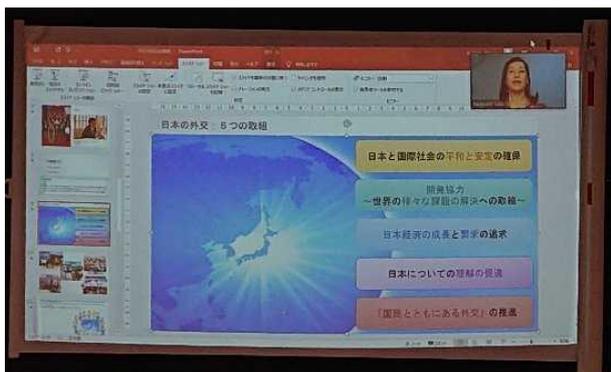
9月23日(水)に外務省「高校講座」がZoomを利用して実施されました。二会場に分かれ70名程の生徒が参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響により開催が危ぶまれていましたが、講師をお引き受けいただいた佐藤真弓様の御協力でご何とか実施することができました。講師の佐藤様は日比谷高校の卒業生です。感染症対応など職務多忙の中、この縁を大切にしたいとの思いで、お引き受けいただきました。改めて感謝申し上げます。

講演では、外務省の職務内容や、職員の方々がどのような思いで職務にあたられているかなど、御自身の経験を踏まえお話いただきました。TPP(環太平洋経済連携協定)成立に向けた経済交渉を在米国大使館から支えた御経験などから、自国や他国の事情を踏まえた交渉の難しさ、様々な角度から物事を見ることの大切さなどを教えていただきました。また、自国だけの繁栄を考えるのではなく、価値観を共有してお互いに助け合っていく国と国との信頼関係を構築することが重要であることも教えていただきました。

講演の後は多くの質疑応答が成されました。質疑応答の時間を長く設けていましたが終わりきれないほどでした。佐藤様には生徒の様々な角度からの質問に対し、寄り添う形で丁寧に御回答いただきました。終了後の生徒からの感想には前向きなコメントが多く寄せられました。こうした講演を通し考えを深めた生徒たちが、将来日本や世界の平和を支える人材に育ってくれると信じています。

生徒の感想(一部抜粋)

・外務省の仕事はサミットに参加する、諸国と条約を結ぶなど、社会科で出てくるようなことのみかと考えていたが、実際お話を聞くとODAなどの開発協力やジャパンハウスなどの日本についての理解促進など、様々な仕事内容があると知り、大変興味深く感じた。お話の中で特に印象に残った点は2つで、1つ目は外務省の構成とその役割についてである。本省は外交活動の指示、在外公館は外交政策の実施と、明確に区別されている。日本と外国の対外関係を考慮しながら、どのように外交活動をするのかを考えるのはとても面白いことだと思うし、在外公館にて現地の人と交流するのは充実感を得ることができると思うので、私がもし外務省に入省したら両方の活動をしてみたいと感じた。2つ目は佐藤さんがお話して下さったTPP交渉についてで、世界中をまとめ上げるには、地元の住民の意見などの具体から、世界が目指す世界像の抽象を合わせなくてはならず、それは本当に難しいこと



であると同時に、それをまとめ上げることができた時、多大な達成感を感じるものだろうと感じた。今回のお話は私の世界観を広げるとても意味あるものだったと思う。これからも外国の動きに積極的に目を向けて、様々な価値観を知りたいと感じた。また、外務省を自分の1つの人生の選択肢として視野に入れておきたいと思う。

・私が住んでいる地域には、たくさん大使館

があり、大使館や外務本省での仕事内容に興味がありました。実際に外務省で働いている方のお話を聞ける機会はなかなかないので、本日の講演がとても勉強になりました。長時間働いていた時の大変さや、外交で細かいところにまで気を配らなくてはいけないことなど、外務省で働く楽しさ以外のことも話してくださったので、実際の外務省の様子を感じることができました。私も将来は発展途上国の発展を助ける仕事に就きたいと考えています。本日の講演を聞いて、その気持ちがより一層強くなりました。

・私はグローバルな人間になるためにはどのようなことをすべきなのか、という質問への佐藤さんのご返答が印象的でした。私は、人間関係を上手に築きあげるためには受け身のままではダメだということに、高校に入ってから気が付き、そんな受け身な自分を変えようと常に心掛けていました。そのことが、グローバルな人材になるために大切なこととつながっていることに気付いて、更に頑張ろうという気持ちになれました。

・特に「世界平和を目指している」というところに影響を受けた。先進国にいる人々が、発展途上国に対してお金を大量に貸し付けたり質の悪い物を提供したりするのではなく、対等な態度で接することが理想的である。色々な国と国交を結ぶことによって、経済的な良い面だけでなく、日本に対する印象や、日本の企業への信頼なども得ることができる。色々なことが巡り巡ってつながっていて、非常に面白いと思った。



後日、講師の佐藤様より参加者の皆さんへメッセージをいただきました！

9月23日の高校講座にご参加いただいた日比谷高校の皆様

先日はお世話になりました。オンラインでの開催ならではの技術的問題もあり（スライドショー機能が使えていなかった、皆さんの反応・様子を確認しながら進めることが困難であったことなど）反省点もありますが、皆さんとの質疑応答を通じ、日頃からの皆さんの日本や世界の情勢に関する問題意識、社会の一員として将来を担っていくことへの志の強さ、ご自身の進路や将来について日頃から色々と考えておられる様子が感じられ、とても頼もしく逞しく思いましたし、勇気づけられました。

また、アンケートには多くの前向きなメッセージをいただき、ありがとうございます。この機会に外務省やその仕事について興味を持ったり、世界と日本について考えたり、ご自身の将来や世界との関わりについて考えたりするきっかけやヒントをご提供できたのであれば、私も微力ながらお役に立てたのかもしれないと、とても嬉しく思います。

同じ高校のOGとして、皆さんのことを応援させていただく気持ちで一杯です。これからも、色々な機会を捉え、色々な人と出会い、色々なことにチャレンジしながら、経験し、学んでいく中で、ご自身の将来を切り開いていかれますよう、そして皆さんが将来志される道で大いに活躍されることを心から祈っています。

2020年10月3日
外務省 国際協力局
開発協力企画室
佐藤 真弓